

No. 46 2026年 10 月 11 日		本 日 の 集 会				◇今週の説教要旨(三位一体後第十九主日礼拝) 説教『神の言葉を聞いて』ルカ福音書5章1～11節 私たちはイエスの人柄も数々の御業も聖書から知っている。それなのに神の国の当事者になれず、ただの部外者になってはいないだろうか。聖書の中には、イエスの近くにいるその人柄や奇跡を誰よりも近くで見ているにも関わらず根っこの部分では結局繋がらないまま終わってしまった人々がいる。奇跡的な病気の癒しを見て熱狂し押し寄せて来た群衆も、イエスが十字架にかけられるときには、「十字架につけろ」と要求して叫んだ。彼らにとってイエスは自分に利益をくれる便利な存在であり、人生を委ねる主ではなかった。律法学者たちも同じだった。彼らはイエスを知り業を見て福音を聞いた。でも心の中にイエスを迎え入れず神の国に入れなかった。漁師シモンは自分に知識と経験を持っていた。夜通し働いて漁をしたが何も捕れず絶望の中にあった。朝イエスは現われ、沖に漕ぎ出し漁をせよと彼に命令した。シモンはよく考え「お言葉ですから網を下してみましよう」と半信半疑の返事をしたがそこで網が破れるほどの大漁を目の当たりにした。彼はその奇跡に遭い神の国の現実を身を持って体験し主の圧倒的な聖さに触れた時思い上がりは畏れに変わった。イエスは罪人を拒否せずにご自分に奉仕する器として招かれた。「お言葉ですから」この命令がイエスの言葉だからシモンは従った。心の中ではきつとまた何も捕れないだろうにと思いながら。しかし、この言葉こそ信仰の始まりだった。そして、わたしたちの信仰ではないだろうか。ここには御言葉をすぐに信じられなくても従ってみる、という信仰の姿勢が描かれている。心に不安を感じなかなか御言葉を行うことができない私たちに主は語りかけてくださる。豊かな憐れみから「恐れることはない」と優しく語りかける。絶望や試練がイエスの言葉を、神の言葉を、福音を受け入れるために不可欠な出来事なのだ。その中で光が私たちを照らし、その光が信仰と結びつき「しるし」の中にイエスの栄光を見ることができる。ユダヤの間では義人ではない人の貧しい生活の場で奇跡が起きた。彼らは一切を捨ててイエスに従った。スタートは神の言葉、福音だった。
三位一体後第十九主日礼拝 説教『神の言葉を聞いて』 吉丸初美師		★教会学校 午前9時45分 ★コーヒータイム 礼拝後～ それぞれの思いを語り合しましょう。 ★第二回目の食事会を行います。 ホットプレートを使って、楽しい食事会です。 当日参加の方も大歓迎です。 関西風お好み焼きを作ります。				
司会 吉丸初美さん 奏楽 自動演奏機 招詞 テモテの第二の手紙2章16節 主の祈 (5 6 4) 讃詠 5 4 6 交読詩編 詩 3 2 編 祈禱 讃美歌 2 1 - 8 使徒信条 (5 6 6) 聖書 ルカ福音書 5章1～11節 説教 (口語訳91頁,新共同訳109頁)		今週の集会/スケジュール ★聖書を読む会 10月13日(火) 10時30分～12時 創世記26章を読んでいきます。 S広島拘置所教誨奉仕 10月14日(水)13時30分～ 施設にある方の信仰生活を覚えてお祈り下さい。 ※めぐみ幼稚園礼拝 10月15日(木) ※めぐみ幼稚園芋ほり遠足 10月16日(金) 9時45分幼稚園集合				
『神の言葉を聞いて』		次週以降のスケジュール等 ●レコードコンサート 10月18日(日)13時～15時30分 ハイドン 管弦四重奏曲 第60番 ニ長調《ひばり》 弦楽四重奏曲 ハ長調 《皇帝》 弦楽四重奏曲 ト短調 《騎士》 ベートーヴェン 第1番 ハ長調 作品 21 ※めぐみ幼稚園礼拝 10月23日(金)10時30分～ S広島キリスト教信徒会牛田墓苑合同礼拝 10月24日(土) 10時30分～ 牛田墓苑利用の教会の方々と合同礼拝を守り、 交流の時を持ちます。ご参加ください。 ※学校法人広島西部教会学園理事会協議員会 10月25日(日) 13時30分～15時				
次週の礼拝(三位一体後第二十主日礼拝) 説教『大きな愛』 ルカ福音書 7章36～50節 招詞 ローマ人への手紙 12章1節 交読詩編 5 2 篇 讃美歌546、21-171、21-153、541		★聖書を読む会 10月27日(火) 10時30分～12時 創世記27章を読んでいきます。				
礼拝当番 今週 11日 司会 吉丸初美さん 来週 18日 司会 安部愛さん		先週の集会				
会堂清掃奉仕		教会学校				
		主日礼拝				
		男				
		女				
		計				
		0				
		2				
		3				
		5				